

令和2年1－3月期GDPギャップ（改訂値）公表に際しての 西村経済財政政策担当大臣談話

令和2年6月12日（金）

1. 先般公表された令和2年1－3月期GDP2次速報を踏まえた同期のGDPギャップは▲2.4%、年率の金額に換算すると約13兆円の需要不足と2011年4－6月期以来のマイナス幅となった。
2. 1－3月期は、2月下旬以降、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、外出の自粛やイベントの中止等が要請され、その下で個人消費を中心に減少し、実質GDP成長率が前期比年率▲2.2%となったことから、GDPギャップは2019年10-12月期の▲1.6%から拡大した。
3. 緊急事態宣言が発出された4月も家計調査の実質消費支出が前年同月比で最大の下げ幅となるなど、厳しい状況となっている。しかし、5月25日に緊急事態宣言が解除され、段階的に経済活動が再開される中、5月の景気ウォッチャー調査の先行き判断DIが過去最大の上昇幅となるなど前向きな見方も徐々に広まっている。4月、5月を底に、今後は経済を成長軌道に戻していくことができるよう、実質GDP6.4%分の直接的な下支え効果を持つ緊急経済対策及び本日成立した第2次補正予算をできる限り迅速に執行してまいりたい。